

令和6年度第2回呑吐ダム桜並木「水土里の路」公園管理作業

令和6年9月21日(土) 午前 9:00から呑吐ダムで行われた、東播用水「水と緑の交流」実行委員会(水土里ネット東播用水、川代ダム域水管理協議会他)主催の第2回呑吐ダム桜並木「水土里の路」公園管理作業に70名(うち会員43名)参加しました。

東播用水「水と緑の交流」実行委員会は、国営東播用水事業の完了(平成4年度)を契機として、事業の意義と効用について広く地域住民への理解を深め、水源地域の人々と、水を利用する人々の交流の促進を図ることを目的として発足し、桜並木「水土里の路」公園管理作業が行われています。当日は、秋分の日の前日にもかかわらず、猛暑の中、主催者の実行委員会のメンバーのほか、美しい田園21の会員等、総勢70名の参加により作業が行われました。少雨傾向により呑吐ダムをはじめとする加古川水系のダム群の貯水率が低下しつづけており、主催者代表として水土里ネット東播用水の専務理事から取水制限に入っているとの情報提供がありました。7月の第1回と同様、今回も多数の参加があり、呑吐ダム並びに東播用水地区、東播用水二期地区、加古川水系広域農業水利施設総合管理事業等に、それぞれの立場で関わられてきた仲間意識が感じられました。

(参加者による草刈り作業状況)

